令和５年度 第１回　掛川市地域公共交通会議 会議要録

日　　時：令和５年８月 25 日（金）午後３時 00 分～午後４時 50 分

場　　所：掛川市立中央図書館 会議室

出席委員：20 人（随行３人）（欠席委員３人、代理出席５名）

次　　第：

１　開会

２　市長挨拶

３　会長選任

４　会長挨拶

５　議事

〈報告事項１〉「掛川市の公共交通について」

・掛川市の公共交通体系や令和４年度の輸送人員・欠損補助額を報告した。

➢　質疑・意見）

・特になし

〈報告事項２〉「利便性向上策実施状況の報告について」

・「自主運行バス経由地変更について」、「掛川大須賀線ダイヤ変更について」、「自主運行バス１日（ワイド）フリー乗車券の導入について」の実施状況について報告した。

➢　質疑・意見）

・特になし

〈協議事項１〉「自主運行バス市街地循環線南回り年末年始ダイヤ改定(案)について」

・掛川市自主運行バス市街地循環線南回りについて、年末年始の乗降客数の減少及び、運行事業者の運転士不足への対応としてダイヤ改定を実施する件について、協議した。

➢　質疑・意見）

・特になし。

→協議事項については、原案どおり承認された。

〈協議事項２〉「原田地区生活支援車（自家用有償旅客運送）の運行変更(案)について」

・原田地区まちづくり協議会が運行等実施している生活支援車（自家用有償旅客運送事業）について利用者の利便性向上を図るため、運行日を追加する件について、協議した。

➢　質疑・意見）

・土日に利用したいという要望はどの程度の要望があったのか。

→正確な人数は把握していないが、福祉館で開催されている福祉事業に通われている方が 10 名程いる。高齢者は移動手段がなく、曜日を増やし利用者を増加させたい。

→協議事項については、原案どおり承認された。

〈協議事項３〉「掛川市地域公共交通計画(案)について」

・掛川市地域公共交通計画（案）について、協議した。

➢　質疑・意見）

・財政負担の記載があるが、便利とコストは比例するので、目標を利便性向上と財政負担額の現状維持とすると、事業者が負担を強いられてしまう。どちらの目標を優先するかわかるように記載していただきたい。

→路線の利便性を良くし、ニーズにあった路線にすることで、この５年間で財政負担を減らせていきたいため、こういった表現となっている。
利便性とコストの両立は難しいと思っている。欠損補助額の推移からも事業者の皆様には経費を下げる努力をしてもらっている。しかし、利用者が少ないことで運賃収入が入ってこない側面もある。利用者増に向けたダイヤ改正等の取り組みを検討する。しかし、いくらでも欠損補助を出していいわけではないため、バランスを考えた表現の仕方を検討する。

・掛川市地域公共交通計画(案)はいつまで修正等が可能なのか。

→令和５年９月５日（火）までに修正等ある場合は連絡をいただきたい。

・協議事項３「計画の概要」に、調査・検討と記載されているがスケジュールはどのような予定か。

→掛川市地域公共交通計画（案）96 ページにスケジュールが記載されている。

・利用促進案に循環線の逆回り運行と記載されているが、利便性の向上と収支の改善は相反する部分がある。循環線は１乗車 100 円でやっているが、維持していくのは難しく限界がきている状況である。燃料や物価が高騰する中、運転士は過酷な労働環境でリスクを背負い運転しているが、比較的給与が低い状況にある。交通事業者は非常に厳しい状況で、収支改善が必須なため、運賃値上げも検討していただきたい。

→運賃値上げについては数年前から検討しなければと思っているが、コロナの影響で利用者が減少していて、値上げにより、また客離れが起きてもいけないと考えている。難しい判断であるが、検討は必要と思っている。
循環線の逆回り運行については、今の 16 便を 32 便にすることは無理であるが、16 便の中での割り振りを考えるなど、利便性とコストを比較しながら、アンケートにおいて市民ニーズがあるため検討する必要はあると思っている。

・バスの料金もデマンド型乗合タクシーの料金も据え置きされている。交通事業者は最低賃金でもいい人をどれだけ雇えるかという状態で、運転手は苦労している。料金を据え置くことだけが良いことではない。計画案に「料金の検討」を入れていただきたい。

→再検討する。

→協議事項については、原案どおり承認された。

６　その他

〈その他〉「しずおか自動運転 ShowCASE プロジェクト令和５年度実証実験計画について」

７　閉会